

鎖骨骨折(プレート固定)の治療を受けられる患者様へ

入院診療計画書（患者用パス）

疾患名

病棟（病室）

（号室）

患者氏名様主治医

主治医以外の担当者

特別な栄養管理の必要性有・無サイン

月日	/	/	/	/	/	/	/
経過	入院当日	手術当日(手術前)	手術当日(手術中)	手術当日(手術後)	手術後1日目	手術後2日目	手術後3日目
症状							
達成目標	治療内容を理解できる 検査・治療を不安なく受けることができる			発熱や痛みなどの体調変化を申し出ることができる 手術後はベッド上で安静にしてください			合併症を起こすことなく経過し退院することができる
活動・安静度	活動の制限はありません 移動が難しい場合は看護スタッフがお手伝いします			歩行可能となります			
食事	既往・服薬内容に合わせた食事を提供します 21時からは絶食です	手術2～3時間前まで飲水可能です 飲水可能時間はお知らせします			朝から元の食事になります		
内服・点滴	持参されたお薬は、医師の指示のもと使用します	体調を整える点滴があります	抗菌薬の点滴があります				
清潔・排泄	入浴・シャワーは可能です お体の状態に応じて介助します 入浴・シャワーができない場合は、お体を拭いたり、着替えの介助を行います			尿の管が入っています	痛み止め(内服)があります 看護師の介助でお体を拭き、着替えをお手伝いします	医師の許可が出ればシャワーができます	
検査				レントゲン検査を行います	血液検査を行います		
処置		静脈血栓予防のストッキングを履きます		酸素マスク・心電図モニターを付けます 両下肢に血流を促す機械(フットポンプ)を付けます	酸素マスク・心電図モニターを外します 尿の管を抜きます 両下肢の機械を外します 歩行が安定すればストッキングを脱ぎます		ガーゼ交換を行います 
観察	血圧・体温、病気に関する症状について適宜観察を行います						
リハビリ	必要があれば手術前よりリハビリを開始します				ベッド上でのリハビリを開始します	歩行や日常生活の自立に向けて運動を実施します	必要に応じて外来でもリハビリを実施します
教育・説明・指導	入院生活について説明を行います 転倒転落の危険性について説明を行います 入院時に必要な書類にサインをしていただきます 医師が手術について説明を行います 手術室看護師の訪問があります			手術後、医師よりご家族の方に手術の経過について説明があります 大切な管がたくさん入っていますので、抜けないように気を付けてください			退院時、医師よりお話があります 退院後の生活について説明があります
退院後の治療計画	退院後外来での診察がある場合、予約票をお渡しします						
退院後の治療上の注意点	少しずつ手術前の生活に戻して下さい 創部の発赤・腫れ、38.0度以上の発熱などが現れたら外来に連絡してください						
その他療養計画	☑ 安全を確保するため、やむを得ない場合に身体的拘束を行います 〈看護〉						

- ・診療内容等は現時点で考えられるもので、今後の検査等を進めていくにしたがって変化する場合もあります。その場合は再度説明いたします。
- ・入院期間については、現時点で予想されるものです。

説明日

説明者